

臓器別臨床腫瘍学特論 28講義（4単位） ※14講義選択受講の場合は、2単位

授業の目的と概要：がん治療に必要な臨床腫瘍学の各論を履修する。

学修の到達目標：臨床腫瘍学の各論として、腫瘍専門家に必要な各がん腫の疫学、診断、予防、治療法（外科的治療、放射線治療、化学療法、集学的治療）についての知識を系統的に学習する

NO.	講義名称	東北大学ISTU 講義タイトル	担当大学	講義目的・概要	
				学修の到達目標	
1	肺がんⅠ	①肺がんに対する外科治療 ②進行肺がんに対する治療	福島県立医科大学 ①鈴木 弘行 ②濱田 和幸	講義目的・概要 ②進行再発肺がんの化学放射線治療・全身薬物療法 学修の到達目標 ①肺がんの疫学、肺がんに対する治療法の概要を理解する。肺がんに対する外科治療の現状を理解する。 ②進行再発肺がんの化学放射線治療・全身薬物療法の概要を理解する。	①肺がんの全体像を理解し、治療法における外科治療の現状を把握する。
2	肺がんⅡ	小細胞肺がん、悪性中皮腫の診断と治療	新潟大学 渡部 聡	講義目的・概要 学修の到達目標 小細胞肺がんの特徴、疫学、治療に必要な病期分類、病期に応じた治療について理解する。悪性中皮腫の成因、疫学、治療に必要な病理学的診断、病期分類、組織型と病期に応じた治療について理解する。	小細胞肺がんの特徴と疫学、診断と臨床病期、治療、悪性中皮腫の成因と疫学、画像と病理診断、治療
3	乳がんⅠ	乳がんの診断と治療	山形大学 河合 賢朗	講義目的・概要 学修の到達目標 乳がんの診断と治療を理解する。	乳がんの統計、リスク因子、乳腺疾患、サブタイプ、サブタイプ別治療、遺伝性乳癌卵巣癌が理解できる。
4	乳がんⅡ	乳がんの薬物療法	秋田大学 寺田 かおり	講義目的・概要 学修の到達目標 早期・進行、転移・再発乳がんの治療の成り立ちと薬物療法のエビデンスを学ぶ。 早期乳がんの治療の全体像と標準治療の概略を学ぶ。転移・再発乳がんの治療の流れを理解し、標準治療を学ぶ。	早期・進行、転移・再発乳がんの治療の成り立ちと薬物療法のエビデンスを学ぶ。
5	中枢神経系腫瘍	中枢神経系腫瘍	秋田大学 小野 隆裕	講義目的・概要 学修の到達目標 中枢神経系腫瘍の種類、診断法、治療の概要を述べられる。	中枢神経系腫瘍についての理解を深める。
6	頭頸部がん	頭頸部がん	弘前大学 工藤 直美	講義目的・概要 学修の到達目標 頭頸部癌は原発部位ごとに特色があり、治療アプローチや治療後の予後もさまざまであることを学ぶ。	頭頸部癌の疫学、原発部位ごとの症状や診断・治療法などを理解する。
7	食道がん	食道癌の診断と治療	新潟大学 市川 寛	講義目的・概要 学修の到達目標 1.食道の局所解剖を説明できる。 2.食道癌の疫学、現況、危険因子を説明できる。 3.食道癌の画像診断・病期分類の概略を説明できる。 4.食道癌の内視鏡治療・手術療法と周術期補助療法・化学放射線療法・薬物治療の概略を説明できる。	がんプロフェッショナルとして理解すべき食道癌の診断と治療の概略を説明する。
8	胃がんⅠ	早期胃癌に対する内視鏡治療	福島県立医科大学 引地 拓人	講義目的・概要 学修の到達目標 早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の適応、手技、治療後の病理学的根治判定、治療後のフォローアップに関して理解する。	早期胃癌に対する内視鏡診断ならびに内視鏡治療
9	胃がんⅡ	胃がんの外科手術～高齢化社会へ向けて～	山形大学 武者 宏昭	講義目的・概要 学修の到達目標 胃癌の疫学・術式の違いおよび再建法を理解する。高齢化社会で、サルコペニア&フレイル症例の増加が見込まれ、その問題点と改善に向けた取り組みを理解する。	胃癌を理解し、治療法を学ぶ。高齢化社会に向けた取り組みを理解する。
10	大腸がんⅠ	大腸がんⅠ	山形大学 岡崎 慎史	講義目的・概要 学修の到達目標 大腸がん診療の基本事項の復習と、Topicsから最近のトレンドを学ぶこと。 ガイドラインに準じた基本方針の確認ができること、今後の注目となりそうな事項を学ぶ	大腸がん診療の基本事項の復習と、Topicsから最近のトレンドを学ぶこと。
11	大腸がんⅡ	結腸直腸がん（Colorectal cancer）	秋田大学 福田 耕二	講義目的・概要 学修の到達目標 進行再発大腸がんの疫学、治療開発の歴史、現在の治療・今後の展望 進行再発大腸がんの治療戦略を理解すること。	進行再発大腸がんの疫学、治療開発の歴史、現在の治療・今後の展望
12	肝臓がん	肝臓がん	弘前大学 飯野 勢	講義目的・概要 学修の到達目標 肝臓がんの治療 肝臓がんの治療について理解する。	肝臓がんの治療
13	胆道がん	胆道癌	新潟大学 坂田 純	講義目的・概要 学修の到達目標 胆道癌の診断・治療について総論的に講義した後、胆嚢癌、肝外胆管癌、十二指腸乳頭部癌について各論的に講義する。 胆道癌の診断・治療について理解する。	胆道癌の診断・治療について総論的に講義した後、胆嚢癌、肝外胆管癌、十二指腸乳頭部癌について各論的に講義する。
14	膵がん	膵癌	福島県立医科大学 鈴木 玲	講義目的・概要 学修の到達目標 膵癌の診断と治療 膵癌の診断と治療について理解する。	膵癌の診断と治療

NO.	講義名称	東北大学ISTU	担当大学		講義目的・概要
15	血液腫瘍Ⅰ	急性白血病	山形大学 横山 寿行	講義目的・概要 学修の到達目標	急性白血物の診断・治療について理解を深める。 現在の標準的な急性白血病治療を理解する。
16	血液腫瘍Ⅱ	がんプロオンライン教育プラットフォーム	専門知識2（腫瘍内科学）_7(造血器腫瘍（白血病）)-10(脳神経腫瘍)の中から1講義を選択して視聴		
17	血液腫瘍Ⅲ	悪性リンパ腫と多発性骨髄腫	秋田大学 高橋 直人	講義目的・概要 学修の到達目標	リンパ系腫瘍の診断と標準的治療を理解し安全に治療を行う。 1.診断に必要な検査とその手順を理解する。 2.標準的治療薬の副作用と作用機序から理解する
18	婦人科がんⅠ	婦人科がんⅠ 絨毛癌・子宮がんから身を守ろう	弘前大学 横山良仁・ 重藤龍比古	講義目的・概要 学修の到達目標	子宮頸がんの原因は性交渉によるヒトパピローマウィルスの感染であること、子宮体がんの原因は肥満、糖尿病であることからどちらも予防できるがんであることを伝える。 子宮頸がんはHPVワクチンと頸がん検診により予防可能、子宮体がんは生活習慣を整えることで予防できることを理解する。
19	婦人科がんⅡ	卵巣癌	新潟大学 安達 聡介	講義目的・概要 学修の到達目標	卵巣癌の基本的事項、初回／再発治療、胚細胞性腫瘍、HBOCについて 卵巣癌の基本的事項、初回／再発治療、胚細胞性腫瘍、HBOCについて、理解できる。
20	泌尿器がんⅠ	腎細胞がん、尿路上皮がん	福島県立医科大学 植村 元秀	講義目的・概要 学修の到達目標	腎細胞がん、尿路上皮がんの最新の治療を紹介する。 腎細胞がん、尿路上皮がんに関する解剖学、疫学からの治療の概論、最新の薬物療法を網羅的に理解することができる。
21	泌尿器がんⅡ	精巣がん・前立腺がん	山形大学 土谷 順彦	講義目的・概要 学修の到達目標	精巣がんと前立腺がんの疫学・診断・治療の知識を習得する。 精巣がんと前立腺がんの要点を理解する。
22	小児がん	小児がん・AYAがんの概論と最近のトピックス	東北大学 笹原 洋二	講義目的・概要 学修の到達目標	小児がん・AYA世代のがんについてその全体像を把握し、長期フォローアップや晩期合併症、がんゲノムや腫瘍免疫における最近のトピックスを理解することを講義の目的とする。 小児がん・AYAがんの全体像と最近の課題について理解する。
23	希少がん悪性骨腫瘍	希少がん	秋田大学 柴田 浩行	講義目的・概要 学修の到達目標	希少がんは悪性腫瘍全体の20%を占める。しかし、そこには200種類ぐらい悪性腫瘍が含まれる。これらを理解するためには、臓器横断的なゲノム診断が重要となる。このような診断、治療アプローチは未来のがん医療の根幹をなすもので、バスケット・トライアルなど新たな臨床試験が展開している。近未来のがん医療はプレシジョン・メディシンになることは疑いなく、本講義を通じて、この流れを理解する。 希少がんについて理解し、その治療法開発には臓器横断的なゲノム診断をベースとしたバスケット・トライアルが主流になることを理解する。これらを通じてプレシジョン・メディシンを実施できる腫瘍医を目指す。
24	希少がん悪性軟部腫瘍	悪性軟部腫瘍の診療	弘前大学 大鹿 周佐	講義目的・概要 学修の到達目標	悪性軟部腫瘍の疫学、分類、身体所見、画像所見、生検、手術治療を中心とした集学的治療、unplanned excisionについて説明する。 悪性軟部腫瘍の診療について理解すること。
25	内分泌がん	内分泌がんのお話し	新潟大学 小山 諭	講義目的・概要 学修の到達目標	概要は、甲状腺癌、副甲状腺癌。MEN、褐色細胞腫などについて、頻度、予後、臨床的特徴や病理組織像、遺伝子変異、治療法について解説した。目的は、内分泌がんについて臨床的特徴や病理組織像、治療法などを理解すること。 内分泌がん（甲状腺癌・副甲状腺癌、MEN、褐色細胞腫など）について頻度、予後、臨床的特徴や病理組織像、遺伝子変異、治療法などを理解する。
26	皮膚がん	1.悪性黒色腫 2.有棘細胞癌 3.基底細胞	福島県立医科大学 大塚 幹夫	講義目的・概要 学修の到達目標	皮膚がんの発症要因、治療 皮膚がんのリスク要因、遺伝子変異、最新の治療を理解する。
27	原発確認がん	原発不明がん	山形大学 吉岡 孝志	講義目的・概要 学修の到達目標	原発不明がんを説明する。 原発不明がんの診断と治療を説明できる。
28	放射線被曝	福島第一原子力発電所で経験した放射性物質の広域汚染と被ばく	福島県立医科大学 佐藤 久志	講義目的・概要 学修の到達目標	東日本大震災に伴い福島県で発生した原子力災害での放射被ばくについての紹介 放射性物質の広域汚染時の考え方